



FUJIEDA SOUTH ROTARY CLUB
藤枝南ロータリークラブ会報
例 会：毎週金曜日 小杉苑 藤枝市青木2-35-30 TEL：054-641-3321
事務局：藤枝市青木1-11-10 TEL：054-647-2300 FAX：054-647-2040
E-mail:club1991@fujieda-rotary.org
会長：内山 淑夫 副会長：山田 壽久 幹事：竹田 敏和 副幹事：渡邊 博文
第1151回



■ 会長報告

内山 淑夫君

『あと少し』

今週はポリオについて改めてお話をさせていただきます。私個人に限って言えば入会以来ポリオに興味を持ったことすらなく、一体ぜんたいアフリカかどっか遠くのことにはずいぶん熱心なことだなぁ位の見識でした。



そもそもポリオが小児麻痺と知ったのはごく最近のこと。近所にポリオの患者もいないし、ましてや身内にもいたことはありません。それでも骨髄性小児麻痺と聞いて、遠い過去の記憶の中に、ああ考えてみれば近所や同級生に足の不自由な子がいたなぁと思ひ出す。以下余談です。あの頃、在日朝鮮人の西山君っていう友達がいて、時々両親がやっている焼き肉屋で焼き肉を食べさせてもらったものです。我が家の隣がみつやというお菓子屋で数軒となりラーメン屋、その又数軒となり萩原さんというお菓子屋さんでした。この頃から食い意地が張っていた。みつやの左となりのお肉屋さんでレバーを買ってきて自分でショウガを播りどんぶり鉢でレバー刺しを食べていた記憶までもが蘇り、我ながらおぞましい少年時代でした。

ポリオに戻ります。ロータリーがポリオに取り組んだのは1979年9月フィリピンで生後3ヶ月から36ヶ月の子供600万人に5カ年計画で免疫活動を始めたのが第1歩です。1985年に国際ロータリー創始80周年にあたってポリオプラス計画を提案。日本国内では募金総額40億円に対し53年間で49億円もの募金を集めました。国際ロータリーでは米貨で270億円

もの寄付が世界中から集まりました。この間成果は着実に現れ毎年35万件あった感染は2012年にはわずか223件にまで減少。アフガニスタン、パキスタン、ナイジェリア3国のみとなりました。このうちナイジェリアは1年以上発症例が報告されていません。ナイジェリアの場合は何千人もの保健従事者による精力的な活動や宗教指導者に対する説得や何よりロータリアンからの働きかけが政治リーダーの心をつき動かしたようです。

今、国際ロータリーは2018年にはEND GAMEを目指そうと最終決戦に向けて55億ドルを集めています。『あと少し』の合い言葉を旗印に多くのロータリアンが道路もないような僻地に分け入り紛争地帯に赴き、実際にポリオワクチンの子供たちに届けるための活動もしています。また、紛争地帯では双方の代表者を説得してワクチン投与のために一時休戦にしたり、宗教上の理由から投与を拒む人たちを説得したりする例もあるようです。そこまでやるのかという新鮮な驚きと、じゃあ私たちはどうしたらいいのかという命題が降ってきます。

大多数の会員と同様、私らに出来ることはポリオ撲滅の理解を求め募金を集める事です。そしていちロータリアンとして、ことあるごとにポリオの現状の話をしていきたいと思ひます。

■ 幹事報告

竹田 敏和君

- ・公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
10月米山月間資料・2014年度決算報告が届きました。

■ 出席報告

平原 望君

本日のホームクラブ 出席者	前回の補正出席者
43/46 93.47%	38/46 82.60%

(1)欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)

○内藤君 ○松浦君 川口君

(2)メイクアップ者

松浦 正秋君(榛南) 桑原 茂君(榛南)

■ スマイルBOX

平原 望君

- ・遅くなりましたが、①100%出席プレゼントありがとうございます。②内山会長・YABさんと北原佳奈選手応援ツアーに行ってきました。最高に楽しい新潟旅行が出来ました。

村松 章隆君

スマイル累計額 263,000円

■ 委員会報告

「25周年記念事業 新聞広告について」
広報担当委員長 若林 秀典

メンバーの意見を聞く前に私案ですがたたき台としていくつかの案を提示したいと思います。

A案 新聞広告の掲載。

1. 藤枝南 RC の過去における事業の掲載(メンバーの名前や会社名を入れるのか?)
2. RC の事業活動内容(地元社会の奉仕や支援、ポリオ撲滅、交換留学生等)を志太エリアの県民に知ってもらう。
3. RC のメイン事業を前面に出し、藤枝南 RC も参加していることを知らせる。

問題点

1. RC についてどれくらい周知されているか? 目を通していただけるのか?
2. 費用対効果はどれくらいになるのか? 志太・榛原版にしてもお金はかかる。
3. 曜日や日を限定すると広告代金はかかる。

B案 新聞に25周年の事業を告知する。

問題点

1. 事業自体を別に考えなければならない(寄付、寄贈もしくは記念事業等)。
2. 2520 地区の補助金をもらうと事業自体は次年度になる。

C案 広告ではないが新聞の記事にしてもらう。

各新聞の記者を集め、事業の内容を記事にしてもらい、内山会長には静岡新聞の「この人」欄になんとかでていただき、思いを打ち明けてもらう。

問題点

1. 会長の意に反する。
2. 事業を決めるのにタイムスケジュールが厳しい。

会員の意見

- ※ メンバーの名前は入れないほうがいい。
- ※ 交換留学生、ポリオ撲滅運動とうは推し進めていき、連絡先を掲載する。細かい事業や詳しい内容はホームページに載せる。
- ※ イメージ的な事を前面に押し出す。内山会長案。
- ※ C案で特化。広告に打ち込む金額で事業(寄付、寄贈、周年事業等をやる)を起こして記事にってもらい、会長は「このひと」に掲載されるようにして思いを述べる。テレビ、ラジオ、ケーブルテレビなどマスメディアを使って浸透を図る。

■ 今週の一言

藪崎 幸一君



例会プログラム

例会日	クラブ行事	摘要
10/2(金) 第 1152 回	会員卓話	理事会
10/9(金) 第 1153 回	社会奉仕委員会 担当	
10/16(金) 第 1154 回	外部卓話	
10/23(金) 第 1155 回	職場訪問例会 サッポロビール	

(担当／藪崎幸君)